

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第 1 4 号

2017年 4月 3日
組織拡充委員会

楽しい歌とゲームの教室 ーみんな仲良し！ー

3月5日（日）、「楽しい歌とゲームの教室」が「みんな仲良し！」をテーマにして、高井戸小学校の体育館で開催されました。

「歌とゲームの教室」の開催は杉並区報にも掲載され、小学校1～2年生を対象に、一般の子どもたちも参加し、地区内の7こ団のビーバースカウト約60名と、リーダー、保護者など、約70名が参加しました。

いつもは同じ隊の仲間と活動しているビーバースカウトですが、各隊のビーバースカウトと一般の子どもたちとの混成で9つのチームを作り、冒険心にあふれたゲームの成績でポイントを競いました。

手をつないだチームの仲間と紙テープの輪を切らないようにくぐり抜けるゲーム、小さなスプーンでボールを運ぶゲーム、空き缶の輪ゴムに結んだテープを皆で引きながら落とさずに運ぶゲームなど、スカウトと子どもたちは各ゲームにわくわくしながら、真剣にチャレンジして、楽しいひと時を過ごしました。

各ゲームですぐれた成績をあげたチームは表彰があり、全員に参加賞がありました。



菊スカウト章、隼スカウト章の伝達

2月23日(木)、あんさんぶる荻窪で開催された地区委員会の開催前に、菊スカウト章、隼スカウト章の伝達が行われ、佐藤地区委員長より下記スカウトに手渡されました。

【菊スカウト章】 杉並3団 山崎ひかりさん、杉並9団 菊池 直人さん

【隼スカウト章】 杉並3団 石原滉士さん

石原滉士さんの隼プロジェクトは「体力づくり」として「箱根駅伝を歩こう」を課題にし、日本橋を出発して、戸塚、小田原で宿泊し、芦ノ湖までの108kmを2泊3日で踏破しました。



また、3月23日(木)、あんさんぶる荻窪で開催された地区委員会の開催前に、菊スカウト章の伝達が行われ、高橋協議会長より下記スカウトに手渡されました。

【菊スカウト章】 杉並3団 中村 泰葉さん、杉並6団 手塚 亮さん



スカウトキャンプ研修会 一大宮八幡宮スカウトの森でー

3月18日(土)～19日(日)、大宮八幡宮スカウトの森で、第221回スカウトキャンプ研修会が開催され、主任講師は日本連盟副リーダートレーナーの椎木誠一さん(杉並13団 副団委員長)が担当し、あすなろ地区の8名を含めて、10名の方が参加しました。

スカウトキャンプ研修会は、ボーイスカウト講習会を修了した方を対象に開設されるもので、基礎的なキャンプ体験を通して、スカウトキャンプの基本的な知識、技能、心構えなどの体得を目的としています。

初日は開会式の後、2つの班に分かれ、キャンプについての座講だけでなく、テントを張り、野外料理を調理するなど、ボーイスカウトのキャンプを実際に体験する中で、キャンプ生活が出来るように理解を深め、ナイトプログラムでは夜間ゲームやキャンプファイアなどを体験しました。

また翌日は立ちかまどの作成など、野外工作の時間が設けられ、作った立ちかまどは昼食の炊事に使用されました。



開会式の国旗掲揚



佐藤地区委員長挨拶



参加者、スタッフ全員で記念撮影

緊張をほぐすアイスブレイクゲームで開始↓



テント内での座講↓



テントの張り方の説明を受けた後、実際に体験↑

スタッフから、各サイトの点検、講評↓

砥石を使って刃物砥ぎの実習↓



野営工作物のミニチュア↑



角しばりなどロープワークの体験↑



春の陽ざしの青空教室↑



出来上がった立ちかまど、三脚テーブル↑



修了証の授与↑

研修所・実修所参加のための事前課題研修会開催

2月18日（土）、ウッドバッジ研修所、実修所に参加を希望する指導者を対象に、杉並区阿佐谷南の産業商工会館で事前課題研修会が開催され、各団の参加希望の指導者が集まりました。

研修会では、参加に必要な課題研修の取り組み方法、スケジュール、制服の着用基準等の話があり、カブ、ボーイ等の各部門に分かれて、各部門のコミッショナーを交えて研修が行われました。

なお、ウッドバッジ研修所の基本訓練課程は、29年度よりウッドバッジ研修所スカウトコース（3泊4日の野営）を履修した後、ビーバー課程、カブ課程など、課程別の研修（1日）の履修で修了することになり、団委員研修所は2泊3日の舎営で修了するなど、これまでに比べて履修しやすくなっているため、多くの指導者の参加が望まれます。



ウッドバッジ研修所スカウトコース 参加申込書

第 _____ 期 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日申込

【期間】平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日～ _____ 月 _____ 日 【場所】 _____

【参加予定の課程別研修】 _____ 課程



「あすなろ地区ローバー」総会を開催

3月17日（金）、中野区産業振興センターで「あすなろ地区ローバー」の総会が開催されました。

28年度は、あすなろ地区のローバー年代の代表者として、杉並13団の小原翔ボーイ隊長が東京連盟の代表者会議に出席し、情報の収集、交換を図ってきたこと、また地区においても「あすなろ地区ローバー年代の有志」による「あすなろ地区ローバー」の活動がスタートしていることから、29年度に向けて活動をさらに活発化するため開催されたもので、各団のローバースカウトが集まりました。

総会では、28年度の活動報告と決算の報告や、29年度の活動計画として、2ヵ月に1回、あすなろ地区ローバー定例会を開催すること、地区ローバーキャンプの開催などを協議しました。

また、「あすなろローバー憲章」の改正、構成員名簿の作成などについて討議し、29年度の代表者として中野8団ローバー隊の沼上志帆さんが選出されました。

沼上さんは、「地区ローバー定例会の開催を通じて地区ローバーの活動の方針を明らかにして、地区内ローバーにLINEなどを使って活動の情報を流し、地区の活動にも積極的に参加して、あすなろ地区ローバーの存在をこれまで以上に示していきたい」との抱負を語りました。



東京マラソン2017にボランティア参加

2月26日（日）「東京マラソン2017」が開催され、奉仕スタッフとして都内のボーイスカウト各団から多くの方々が参加し、あすなろ地区ではベンチャーとローバーのスカウト、指導者37名が参加しました。

あすなろ地区のスカウト達は、支給されたお揃いのジャンパーを着用して、新宿駅からスタートブロックの東京都庁前付近で、コース周辺の警備や会場への案内、誘導や車いすランナーの対応などを担当しました。

午前9時5分に車いすの選手が東京都庁前をスタートし、ついで9時10分に世界のトップランナー達が先頭で走り抜けると、約36,000人のランナーが道路いっぱいに広がって、長い列が続きました。

ランナーのなかには、思い思いの仮装の方も多く、沿道の大きな声援に笑顔で手を振りながら、日本橋、浅草、銀座、高輪など、都内のメインストリートを走り、今年からフィニッシュエリアになった東京駅を背景にしてゴールインしました。



高萩スカウトフィールドを实地踏査

VS担当副コミッショナー 飯沼利雄

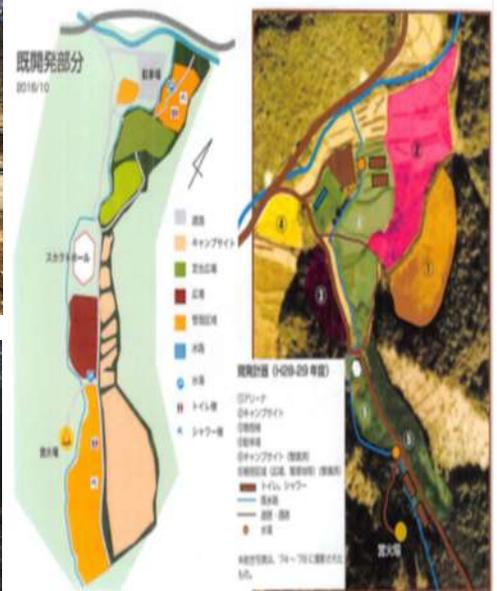
ボーイスカウト日本連盟創立95周年記念として、茨城県高萩市の大和の森「高萩スカウトフィールド」において、平成29年8月4日～8月9日の日程で「日本連盟創立95周年記念・日本ジャンボレット高萩2017」がビーバーからローバーまでの全ての部門のスカウトと、一般の青少年、約3000人規模の野営大会として開催されます。本大会への東京連盟各隊の参加促進と、高萩スカウトフィールドの見学を兼ねた实地踏査を去る2月4日に行いましたので、現地の様子を報告します。

大和の森「高萩スカウトフィールド」は、常磐自動車道高萩I.Cから11kmで約20分、JR常磐線高萩駅からタクシーで13km、約25分で、面積約271ha（82万坪）の広大な敷地です。

自然に触れて親しむ場とするため、ほとんどは山林のまま残されており、これまでボーイスカウトのメンバーが樹木の伐採に取り組むなど、自然を生かした野営場造りが進められてきました。

場内には、メインキャンプエリア、トイレ棟、温水シャワー棟、スカウトホール等が整備され、さらにキャンプサイトや広場、遊歩道、駐車場の拡張が予定されています。

ビーバー、カブの参加については、今春3月に閉校になった君田小中学校を宿泊場所として利用できるよう調整中です。



パインウッドダービー東京大会で入賞

3月5日（日）パインウッドダービー東京大会が板橋区立志村坂下小学校の体育館で開催され、各地区の予選会で好成績を収めた都内のカブスカウト約300名が自慢の「愛車」を持って集まり、杉並11団の岩瀬琢音さんが、しか部門の総合3位に入賞しました。

あすなる地区では、1月22日（日）、高円寺中央会議室で地区予選会が開催され、各団カブ隊のうさぎ、しか、くま各部門でスピードが上位のスカウト12名が東京大会に参加したものです。

東京大会では2つのレーンを使い、1つはうさぎ部門とくま部門、もう1つはしか部門とリーダー、父兄によるアンリミテッド部門とに分けてレースをおこない、4回走行して平均タイムで競いました。



はなまつりでパレード

杉並2団

4月2日（土）、築地本願寺和田堀廟所でお釈迦様の誕生をお祝いする「はなまつり」が開催され、満開の桜並木の下で、杉並2団はパレードに参加しました。

パレードは武蔵野女子学院ブラスバンド部の演奏を先頭に、白象の台車をスカウトが引き、かんむりを頭に乘せ、着物を着たかわいい稚児の行列が続きました。

会場では甘茶のサービスがあり、となりの杉並2団のテントでは、リーダーや団委員の方々が焼き鳥や綿あめを販売し、色付きの綿あめが人気でした。また、明治大学茶華道部によるお抹茶の接待や、農産物、仏具の販売、ネイルサロン、駄菓子店やスーパーボールすくいなどのコーナーやテントが並びました。

また境内の3か所のスタンプを集めるとプレゼントがもらえるスタンプラリーがあり、杉並2団が担当した最初のスタンプでは、「昔の遊び」コーナーとして、竹馬、こま、けん玉、あやとりなどを楽しむことができ、子供たちの歓声があがっていました。神鳥をモデルにしたぬいぐるみの「カルダン」くんも登場し、消防車も来場して消防服で身を固め、消火器で放水する体験や、起震車で地震のゆれを実感することができました。



湯の丸で初めての雪洞キャンプ

中野5団 ベンチャー隊 原口 輝

私は今回初めて雪洞キャンプに参加しました。このキャンプには学校の友人が所属しているさいたま8団が毎年行っているキャンプで、今回は友団として参加する事になりました。また他の団からの参加者も大勢いて、交流の場としても役立ちました。

初日はさいたま市の小学校で出発式を行い、バスで長野県の湯の丸高原に向かいました。開村式後はスキーウェア等に替えて、ホテルより少し登ったキャンプ場で雪洞を作りました。

雪洞は雪を円形に踏み固め、周りの雪を切り出して積み上げ、最後に中を掘って作りました。タープを張った食堂の椅子と机は雪のため、座るとお尻の感覚がなくなるほど寒かったです。

暖かなホテル内での夜のミーティングの後は、重い腰を上げてキャンプ場の雪洞で就寝しました。

二日目は朝食後、スノーシュー（かんじき）を履いて、湯の丸山の途中まで登山をしましたが、新雪が積もり、足が埋まるまで沈んでしまいました。

三日目は朝食後、撤収作業を行い、昼食後は温泉に入り、最高に気持ちよかったです！閉村式の後、バスで帰路につきました。

今回は初めての雪のキャンプで不安でしたが、なんとか耐えることができました。事前ミーティングで伝えられた最低気温 -10°C の寒さの見当がつかずに参加し、寒さが一番つらく感じました。

二日目からはスキーウェアが軽く濡れた状態で吹雪もあり、スキーウェアが凍り付いて体感温度は -14°C まで落ちていたと思いますが、それでも雪洞の中は風が遮られて -4°C ほどだったと思います。冗談の通じない未体験の厳しい世界でしたが、大きな危険とは裏腹に、魅力あるキャンプでした。次に参加の時は、もっと快適な生活が送れるようにしたいと思います。

